

鷹溪

第8月-2号
小原小学校
R6.8.5 発行
文責校長田中博恵

地域の力で、閉校を

「小原小閉校記念事業実行委員会」立ち上げ

7月1日第4回統合小学校開校準備委員会(各校区より代表8名・地域代表・保護者代表・学校代表)において、統合時期を令和7年4月1日に決定したことの報告を受け「小原小閉校記念事業実行委員会」を立ち上げることとなりました。

会長に
は、学校
運営協議
会長の加
藤正和様
がお引き
受けて
ください
ました。



会長あいさつ

小原小学校「学校運営協議会」の推薦を受け、保護者の皆さま方のご承認をいただきまして、本会の会長職を務めることになりました。小原の加藤と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

今回の統合につきまして、地域から学校がなくなる無念さもさることながら、その決定の過程に関して納得できない点が多々ありました。市の統合準備委員会等においても指摘し、せめて「令和8年統合」とするよう市教委に要望して参りました。市教委もこれまでの段取りなどについては、反省の弁もあつたものの、しかし、最終的には子どもたちや保護者の来年度統合の期待が多いとのこと

で、令和7年度統合と決定しました。子どもたちや保護者の要望が多いのであれば、私たちもそれを尊重しなければなりません。市の準備委員会としても市教委の方針に従うことになりました。統合までの期間は短いのですが、いよいよこれからは各学校が閉校準備を進めるために実働しなければなりません。

さて3月末の統合のために、大きく二つのことをめざさなければなりません。一つは、子どもたちが安心して、来年度からの新しい学校生活になじんできいく環境を整備することです。保護者からも3校の交流を計画的に進めて欲しいとの要望もありました。これについては、市教委と各学校にお願いしていま

もう一つは、3月までに子どもたちの記憶に残る思い出をいかに創り出すかということです。これは私たち閉校記念事業実行委員会と学校、さらには地域の役目だろうと思います。つまりこの閉校記念事業実行委員会は、子どもたちの思い出作りと学校に対する感謝を現す、その企画から実施までを担うこととなります。与えられた日々は、9カ月ほどしかありませんが、私たち大人が汗をかく覚悟です。

保護者の方々、そして地域の皆様方のお力をお借りして、閉校の日まで努力していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

小原小閉校記念実行委員会の組織については、裏面にて紹介いたします。

各部(式典・記念碑募金・記念誌)の紹介

記念式典部

- 【主な内容】
- 閉校記念式典の企画・立案
 - 案内状作成・発送・名簿作成
 - 式典用パンフレットの作成
 - 式典当日の運営
 - 閉校記念行事の企画・運営等

【経過】

7月23日 第1回部会
8月6日 第2回部会予定

記念心碑 募金金部

- 【主な内容】
- 閉校記念碑の企画・立案
 - 募金計画及び集金活動
 - 補助金について等

【話し合っていること】

- ▽子どもや保護者から集められた「アイデア」をもとにできそうな記念行事について
- * 学校が中心となりできそうなこと
- * 保護者・地域が中心となりできそうなこと

【経過】

7月23日 第1回部会
8月9日 第2回部会予定

【話し合っていること】

- ▽記念碑は、建立予定(碑いしぶみ)
- ▽記念行事実施のため、地域の方や卒業生・過去勤務者に募金をお願いをし、資金集めをする。
- ▽記念碑・記念誌の作成見積もりから予算書を作成する

記念誌部会

- 【主な内容】
- 閉校記念誌の企画・制作
 - 原稿依頼
 - 資料等の収集整理保管
 - 注文の受付・発送等

【経過】

7月23日 第1回部会
7月30日 第2回部会
8月5日 第3回部会

【話し合っていること】

- ▽閉校記念誌の構成内容検討
- ▽編集班(3班構成)
- * A班..学校沿革史
- * B班..卒業写真
- * C班..寄稿文依頼
- ▽学校文集「鷹溪」を児童のページとして記念誌に掲載する

今後、学校新聞「鷹溪」で、本会の進み具合を紹介します。